

新たな挑戦をさせてくれる OSGS プログラム

鈴木 華

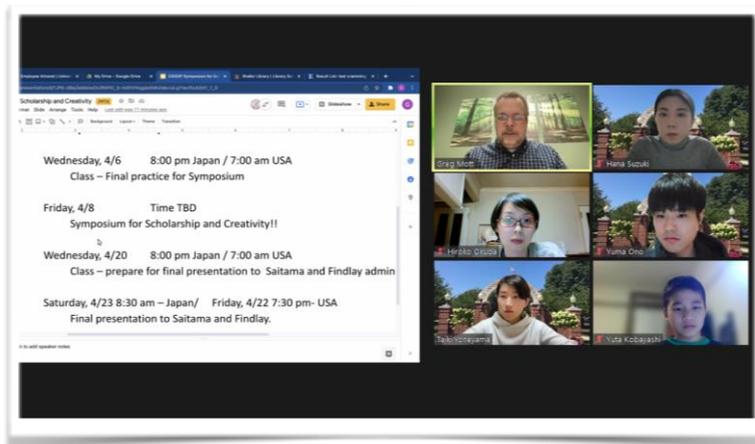
親善大使の活動

親善大使として最初に訪問したのは、「ふじみの国際交流センター」です。外国籍の方々への生活支援、日本語指導など、多文化共生の街づくりを目的に活動している NPO に訪問し、実際にボランティアをされている方にお話を伺ったり、日本語指導の体験をさせていただいたりしました。詳しくは親善大使の Instagram をご覧ください！



Introductory Tour

現地学生パートナーと、それぞれの地元の様子や学校や友人などを紹介し合うというツアーを行いました。私は、大学での生活を動画で共有しました。日本の学生生活の魅力を少しは伝えることができたのではないかなと思います。



本当にあつという間です

皆様こんにちは。埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム後期メンバーの鈴木華です。早いもので、一月にはじまった OSGS プログラムの授業も先日終わり、残すは最終プレゼンテーションと埼玉県で行われる成果報告会のみとなりました。グレッグ先生の授業はとても面白く、二週間に一度の授業は本当にあつという間に終わってしまい、とても悲しく思います。やっと緊張がほぐれてきたのですが、授業が終わってしまい、もっと活発に発言ができていればなと少し悔しい気持ちも残っています。

さて今回のレポートでは、授業の様子・現地学生パートナーとの交流・親善活動の様子などをご紹介します。この数ヶ月は本当に様々なことに挑戦ができたので、その様子が少しでも伝わると嬉しいです。

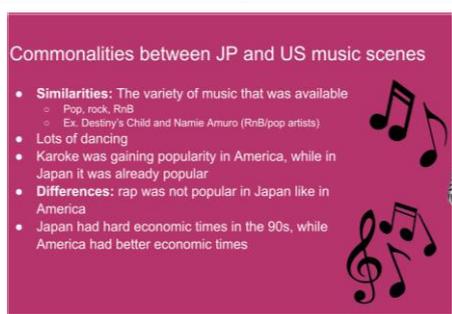


現地学生パートナー Leah との日常

今回の OSGS プログラムは現地学生パートナーの Leah との協力が必要不可欠でした。一週間に一度の Zoom でのミーティングが非常に重要なのですが、時差やそれぞれの事情により、予定を合わせるのが非常に大変でした。しかし、LINE や Google ドキュメントなどでお互いの進捗確認を行い、なんとか発表に備えました。

Leah はとても優しくフレンドリーで、「オハイオでは雪が降ったよ」「K-pop のライブに行ってきたよ」など自分の日常を気軽に共有してくれます。二人で行う Zoom で、私の英語で通じるか不安でしたが、Leah もフォローをしてくれるので安心して話し合うことができました。

先日は、最終プレゼンテーションに向けて二人で発表資料をつくりました。資料の一部を下に貼っておきます！発表が楽しみです。



なんと、私達シンポジウムで発表しました！

“Decade (10 years) Project” というテーマで、音楽に焦点を当てて日米の文化や社会を学んできた私たちですが、4月8日にフィンドレー大学の“Symposium for Scholarship and Creativity”というシンポジウムでその成果を発表しました！このシンポジウムの準備のために、3回目の授業からは本格的に、英語で発表するときのポイントや発表資料 (PowerPoint) を作る際の注意点などを授業内で教えていただきました。グレッグ先生は、シンポジウムで使用する資料も授業内で丁寧に添削してくださり、楽しみながら準備することができました。

とても楽しい授業ばかりでしたが、中には苦戦したものもあります。それは、5分ほどのサイレント動画にアフレコを入れるというものです。動画で流れる登場人物の様子をすぐに読み取り、英語で説明しなければならぬのですが、瞬間的に英語を発しなければいけなく、とても難しかったです。非常に難しい練習ですが、自分でも続けることで、着実に英語力が伸ばすことができるのではないかなと思います。皆さんもぜひ挑戦してみてください。

このような授業を経て迎えたシンポジウムは、大成功でした。シンポジウムは時差の影響で深夜の一時過ぎにはじまり、非常に眠く緊張もしていましたが、ZOOM越しに見える聴講者がとても楽しそうに発表を聞いているのを見て、とてもリラックスしながら発表することができました。非常に貴重な経験ができ、感謝でいっぱいです。

